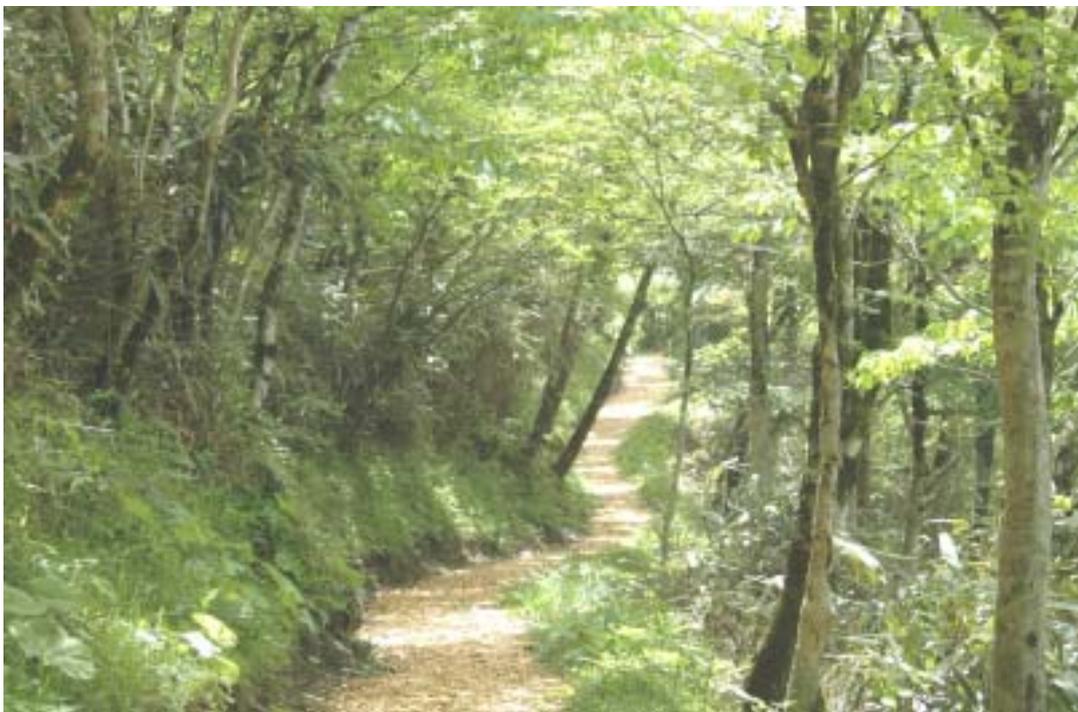




こうち人づくり広域連合
第5回調査研究事業

平成20年度 調査研究事業企画書



森林セラピーロード(津野町)

グループ名: TG

テーマ

個人・家族の防災シナリオ作成事業 ~大災害のとき、迷わず行動するために~

グループ名: エコライフ高幡

テーマ

こだわり野菜宅配事業 ~やる気のある農家が美味しい高幡野菜を直接届けます~

平成20年度 こうち人づくり 調査研究事業

個人・家族の防災シナリオ作成事業

～大災害のとき、迷わず行動するために～



グループ名 T G

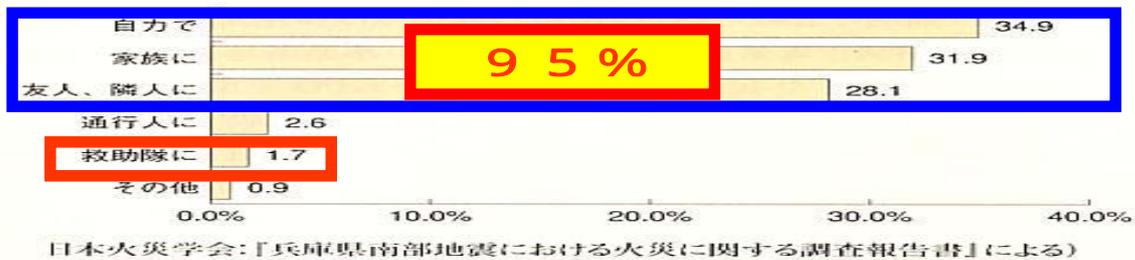
所属	名前
奈半利町 住民福祉課	濱内 恵一
芸西村 総務課	岡村 公順
安芸市 まちづくり課	正岡 伸悟
香美市 生涯学習課	大峯 啓之

事業の必要性（事業選択の背景）

「南海地震」は今後30年以内に約53.4%の確率で発生するといわれています。家屋倒壊、津波、土砂崩れ等により大きな被害が予想されるこの災害から、住民の命を守る。そのために必要とされる施策とはどんなもののでしょうか？

<p>今までの時代</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共事業投資 (防災) 強固なコミュニティ (地域のつながり 強) 大人が備える防災対策 (おんちゃんばかり) 行政が行う防災 (公助) 	<p>これからの時代</p> <ul style="list-style-type: none"> ソフト対策の充実 (減災) コミュニティの崩壊 (地域のつながり 弱) みんなで備える防災対策 (わかいもんも一緒に) みんなで連携し減災 (自助・共助・公助) 	<p>現在、地方行政は財政、人員等あらゆる面で厳しい状況にあります。そうした状況は地震を含む災害対策においてさえ影響をおよぼしています。それと同時に地域の高齢化、過疎化により、以前は強固であった地域のつながりは弱まりつつあります。又、自然災害の強大化傾向もここ数年で明らかになっています。こうした厳しい状況の中、我々行政は限られた予算、人員で最も有効な政策を実施していく必要性に迫られているのです。</p>
--	---	---

さて、下の図は1995年に発生した「阪神・淡路大震災」において行われた救助・救護活動の実態を示しています。

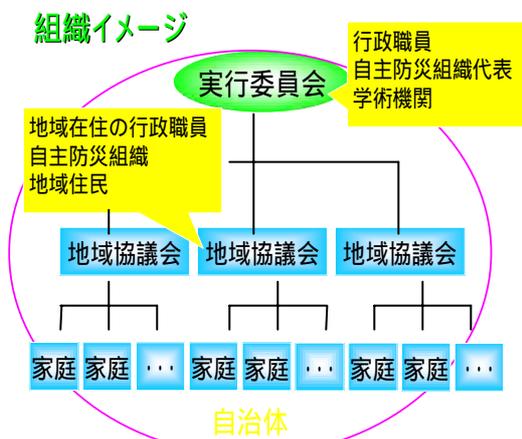


この図から大規模災害における救助・救護活動において、個人、地域の力がいかに重要であるかが見て取れます。

こうした事実から、県内の多くの市町村は地域の防災について「自助・共助」の重要性を説いています。しかし実際に災害が起こった時、あなたの町の住民、地域組織は適切な行動をとれるでしょうか？そして行政はその為に有効な政策を示せているのでしょうか？

そこで私たちは個人、地域組織に「災害時にいかに行動するのかを具体的にイメージさせる」ことによって市町村の防災力を向上させる「防災シナリオ作成事業」を提案します。

事業の内容

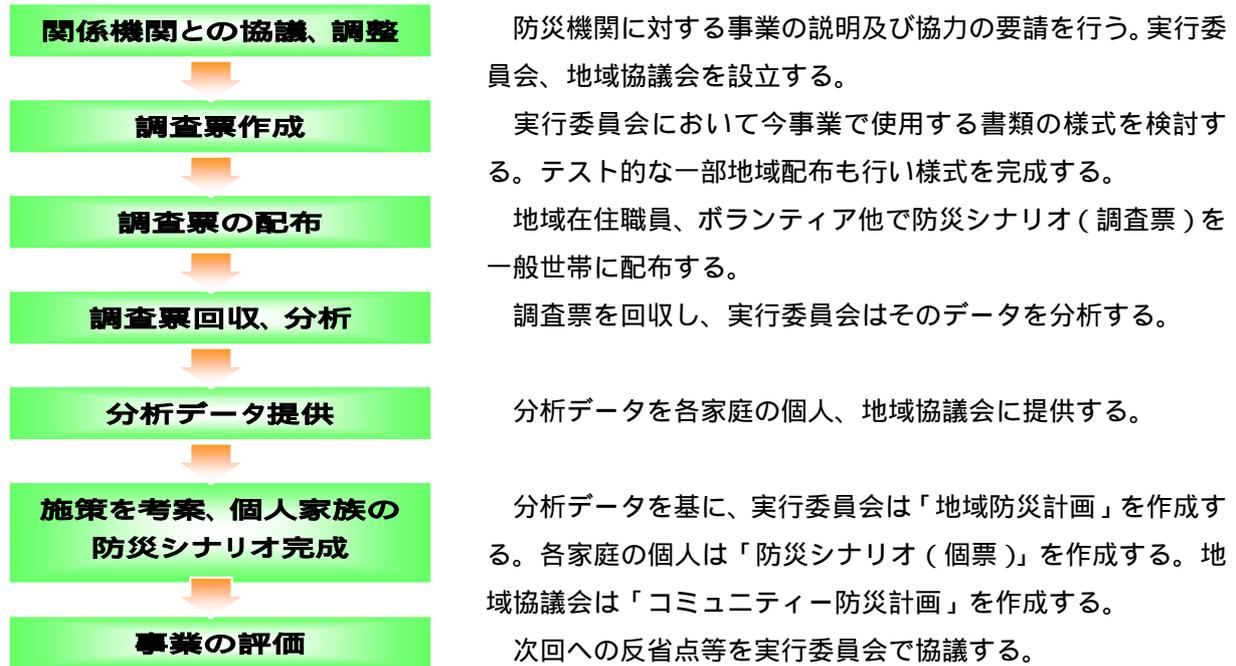


住民の災害時行動を示した「防災シナリオ（個票）」。各コミュニティー単位の災害時行動を示した「コミュニティー防災計画」。を集約した「地域防災計画」を作成します。

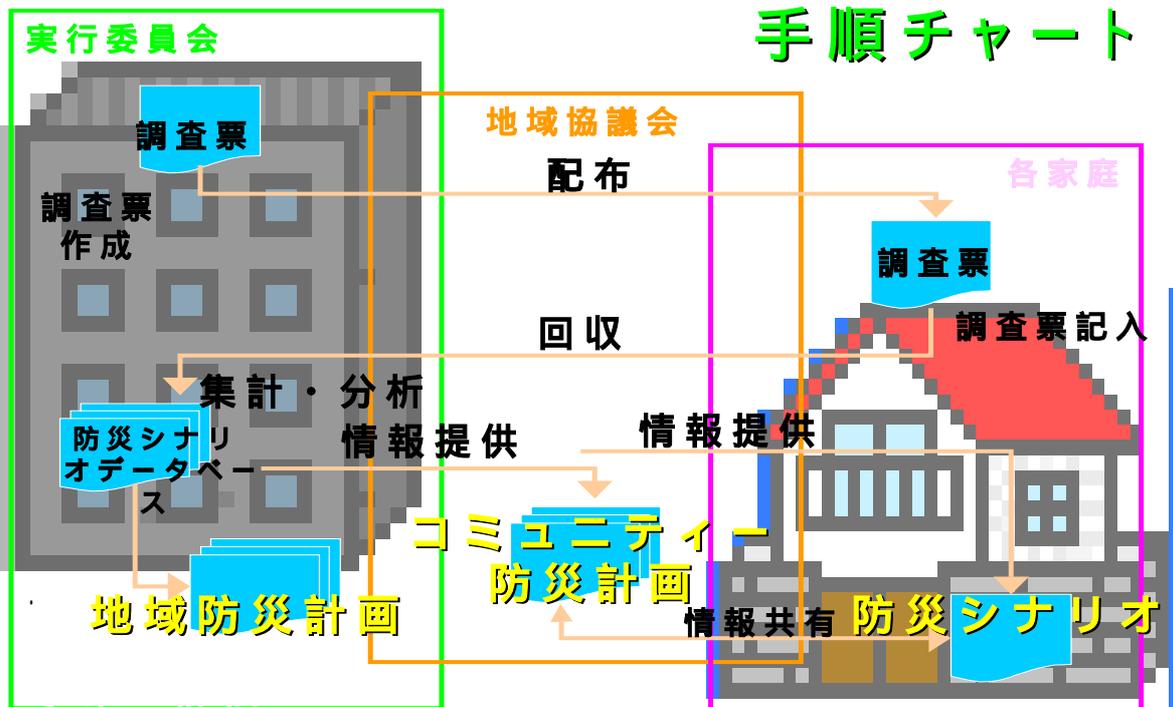
左図は実行組織のイメージです。

各家庭の構成員は 防災シナリオ（個票）を作成します。地域協議会は コミュニティー防災計画を作成します。実行委員会は自治体全体の 地域防災計画を作成します。

事業の手順



下図は防災シナリオの完成までを視覚化したものです。まず防災シナリオ（調査票）を各家庭に配布します。その調査票のデータを実行委員会が集約・分析します。実行委員会は分析データを地域協議会、各家庭に提供します。実行委員会、地域協議会、各家庭の個人はこの事業で得られたデータを基にそれぞれの防災計画（防災シナリオ）を作成します。



事業の実効性

「防災シナリオ」の個人、家族用の調査票を作成して、実際に調査してみました。

- ・ × 回答で調査票の記入ができる手軽さと、より詳細に調査が行える記入欄と併用しました。

結果を集計、分析しグラフ化することで課題を浮き彫りにします。

世帯情報をマップ化することで視覚的に管理、活用することができます。

防災シナリオ個票に編集し、大災害時の避難行動に役立てることができます。

調査票 イメージ

災害発生から大災害発生を守るため、
 世帯の防災シナリオを調査しましょう。

記入上の注意（記入例は任意です）
 1. 避難経路は必ず記入してください。
 2. 避難場所の名称は必ず記入してください。
 3. 避難経路は必ず記入してください。
 4. 避難場所の名称は必ず記入してください。

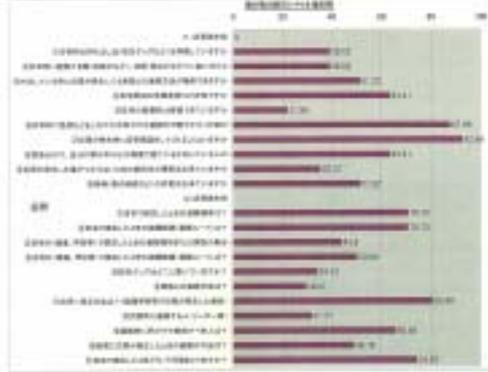
記入していただくことで、
 避難経路や避難場所を明確にし、
 大災害時の避難行動に役立てることができます。

集計票 イメージ

世帯の防災シナリオ（集計票）

項目	回答数	回答率	備考
① 災害発生時	100	100%	
② 避難場所	95	95%	
③ 避難経路	90	90%	
④ 避難生活（3日後）	85	85%	

集計グラフ イメージ



マップ イメージ



防災シナリオ個票 イメージ（例1）

防災シナリオ (防災太郎)

① 災害発生時

② 避難場所

③ 避難生活（3日後）

防災シナリオ個票 イメージ（例2）

防災シナリオ (例2)

避難経路や避難場所を詳細に記入した個票のイメージ。

費用対効果

歳出

消耗品費

・用紙代 (@1.6円×9200枚) : 14,720円

通信費

・切手代 (@80円×13500枚) : 1,080,000円

職員、既存自主防災組織等を使えば 0円

人件費

・送付、回収、分析 ほか: 850,000円

送付、回収を郵送ではなく協力者によって行う。0円

合計: 14,720円

費用対効果

南海地震による被害予測
死者 約9,630名

1人当たり県民所得
2,146,000円

平均寿命(2008)
約86歳(女性)

1,777,274,280,000円
(約1兆8千億円の大損害)

もちろん人命はお金には換えられません！！
しかし、
人口減少著しい地方にとっては、深刻な問題

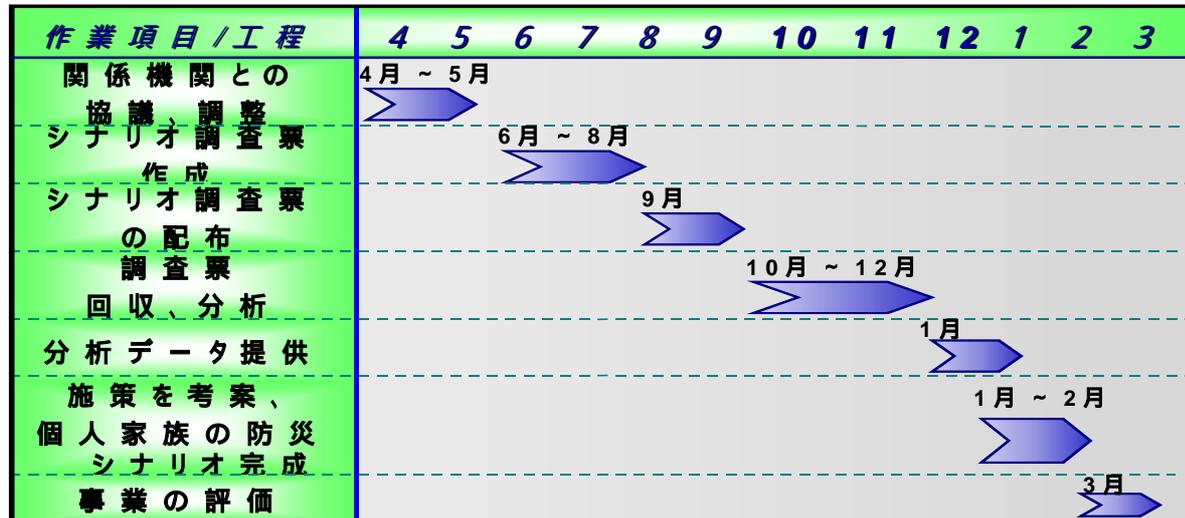
事業の実施に必要な予算を挙げてみました。

1万人規模の自治体を想定した概算ではありますが、関係団体や地域住民に事業の必要性を理解いただき協力してもらうことで担当職員の人件費を除けば大変僅かな予算で事業を実施することが可能です。

又、仮に多額の費用を必要とした場合でも大災害のもたらす天文学的な損害額と、多数の尊い命を失う損失や悲しみに比べればその事業効果は計り知れないものとなります。あなたは大切な家族の命を救うための費用を惜しみますか？

事業の推進に向けて

日程計画



南海地震の発生予想からすると猶予はありません。手順に沿って平成21年度当初からの事業スケジュールをお示しいたします。

まとめ

我々行政は住民の生命、財産を守る責務があります。

この事業は、住民一人ひとりに、災害時の行動を具体的に考えてもらうことができます。

個人・地域の防災力を確実に底上げします！大規模災害は必ず発生します。

ためらっている時間はありません。即、事業化すべきです！！